

## 神戸大学生協からの大切なお願い

神戸大学生協存続のための校費ご利用のお願い

平素は神戸大学生協の事業・活動にご理解、ご協力頂き誠に有り難うございます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、非常に厳しい経営環境となっています。

7 キャンパス 23 店舗中、営業を再開できた店舗はわずかに 7 店舗（食堂 4 店舗・ショップ 3 店舗）だけであり、多くが臨時閉店を継続せざるを得ない状況です。

10 月 1 日以降もキャンパス状況が好転する見込みは薄く、このままでは運営が立ち行かなくなる損失額が発生します。神戸大学生協は設立 64 年となりますが、ここまで大きな損失が単年度で発生したことはなく、解消にはかなりの時間を要すると考えます。

**教職員の皆様をお願いしたい旨は、校費（運営費交付金や科学研究費等）のご利用についてです。**

多くの教職員の皆様から、校費のご利用を頂いておりますが、生協以外でのご利用も多いです。これには、生協の力不足も含め諸所の要因があることを認識しておりますが、商品等のご発注の際には生協も購入先の候補の 1 つとして、何卒お声がけ頂けるようお願い致します。

校費利用は、神戸大学生協国際文化学部店(鶴甲第 1 キャンパス)にてご対応致します。

お問い合わせ先 TEL 078-882-3133 (学内線 2653・2654)

FAX 078-882-3191

E-mail [coop-rokko@kucoop.jp](mailto:coop-rokko@kucoop.jp)

※同封のリーフレット以外もお取り扱いできますので、ぜひご相談ください。

神戸大学生協は対面（ご来店・ご訪問）での利用や活用が主であり、これからも大切にしたいと考えています。

ただ、キャンパスに大学構成員が戻られないことにはこの事業形態は成り立ちません。

今回、このようなキャンパス環境下において、教職員の皆様のお力をお借りし、事業継続の望みを繋ぎたいと考えております。何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020 年 8 月 1 日

神戸大学生協生活協同組合

専務理事 坂本 安弘

2020 年度決算見込みに関しましては、本書裏面ないしは当生協ホームページをご参照ください。



[https://www.kucoop.jp/news\\_2/news\\_detail\\_2071.html](https://www.kucoop.jp/news_2/news_detail_2071.html)

## 新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響

新型コロナウイルス感染症により、神戸大学生協は4月7日より全店舗を臨時閉店致しましたが、6月1日より一部の店舗において営業を再開致しました。

ただ感染防止の観点から、遠隔授業が中心となっており、クラブ・サークルの活動においても一部を除き禁止されていることから、非常に厳しい運営となっており、臨時閉店を継続している店舗に関しても、営業再開の目処もたっていない状況です。

おそらく、10月1日以降も厳しい状況が継続すると考えられ、現時点での2020年度の損益数値は、少なくとも約1億3千万円もの大きな損失が発生する見込みです。

※現在、全スタッフに休業を要請し、経費の圧縮に努めています。また、政府からの持続化給付金・雇用調整助成金等の申請を行い、耐え忍んでいる状況ではありますが、長期戦（持久戦）の様相となり厳しさが増えています。

この大きな損失は、2021年度以降も新型コロナウイルスの影響が残るとの考えから、解消にはかなりの時間を要すると思われまます。

また、このコロナ禍により、大学生のキャンパスライフが大きく変わる（変わらざるを得ない）ことは必然で、そのことにより生協の利用・活用方法、それに伴うキャンパスライフ支援の有り方も激変する考えられます。

キャンパスライフの新スタイルに対し、いかに柔軟かつ迅速に対応できるかが鍵となり、[対応]が遅れるようなことがあれば、損失額がさらに増加することになります。

2020年度活動方針は、『組合員を「支え」「応えられる」生協に』を掲げておりますが、この方針を実践する機会が非常に限られています。また、未確定なことが多く、今後どのような状況になるか想像できませんが、組合員のキャンパスライフが豊かになるように尽力する所存です。

生協は組合員一人ひとりのご協力（加入・利用・参加）により成り立っており、ご理解頂くことで事業・活動を行うことができます。

設立64年になる神戸大学生協ですが、ここまで厳しい状況は経験したことがありません。

この難局を皆様のさらなるご協力を頂き、乗り越えて参りたいと思います。

何卒、神戸大学生協をよろしくお願い致します。

2020年7月27日  
神戸大学生協同組合  
専務理事 坂本安弘

	2020年度 決算見込	予 算	予算 対比(%)	前年度 実績	前年 対比(%)
純供給高	957,636	2,569,603	-62.7	2,583,753	-62.9
供給総剰余	238,044	672,330	-64.6	693,815	-65.7
GPR	24.9	26.2	-1.3	26.9	-2.0
その他収入	126,533	163,721	-22.7	123,333	2.6
事業総剰余	364,577	836,051	-56.4	817,148	-55.4
人件費計	412,269	543,593	-24.2	552,496	-25.4
物件費計	221,756	310,691	-28.6	315,344	-29.7
経費計	634,025	854,284	-25.8	867,840	-26.9
事業剰余金	-269,448	-18,233	-1,337.8	-50,692	-431.5
事業外収益	24,312	19,633	23.8	24,351	-0.2
事業外費用	1,967	0	-	13,782	-85.7
経常剰余金	-247,103	1,400	-17,750.2	-40,123	-515.9
特別利益	12,000	0	-	9,948	20.6
特別損失	0	0	-	83	-100.0
当期剰余金	-235,103	1,400	-16,893.1	-30,258	-677.0
助成金	122,243	-	-	-	-
助成金+当期剰余金	-122,860	1,400	-8,161.4	-30,258	-99.7

※助成金は既に申請（手戻り高切）していませんが計算金額を記載しています。